

本社 〒502-0802 岐阜市打越546番地の2 TEL058-233-3333 (代)
 FAX058-233-6776
 名古屋駅前事務所 〒450-0002 名古屋市中村区名駅4丁目13番7号 西柳パークビル3階
 TEL052-551-0018
 自宅 〒500-8212 岐阜市日野南8丁目8番16号 TEL058-240-3888
 FAX058-240-5222

Total Account Consultation by Takai

THE YOMIURI SHIMBUN

読賣新聞

2022年(令和4年)

4月17日 日曜日

奨学生3人に認定証

「高井法博」第6期生 岐阜で授与式

経済的に困窮する大学生に返済不要な奨学金を支給している公益財団法人「高井法博奨学会」の第6期奨学生が決まり、岐阜市で認定証の授与式が行われた。コロナ禍の中で始まる大学生活に向けて3人が抱負を語り、新社会人となる2017年度の第2期生が決意表明した。

同奨学会は、税理士法人「TACT高井法博会計事務所」(岐阜市)の高井法博会長(75)が設立。毎年、大学進学を目指す県内在住か県出身の高校3年生2〜3人を選び、1人あたり年間60万円を最長4年間支給している。

高井会長によると、自身も子どもの頃は貧しい生活

を強いられ、小学校低学年から新聞配達をして家計を助けた。中学3年の時には父親が病気で倒れ、高校進学も諦めかけたが、篤志家が出してくれた奨学金で進学がかなったという。

今回は応募者16人の中から、県立岐阜商業高から名古屋市立大に進む杉山真理亜さん、県立可児高から岐阜大に進む尾崎草太さん、美濃加茂高から日本福祉大に進む母袋柊一さんが第6期生に選ばれた。

先月22日に行われた授与式では、尾崎さんが「県内の高校で物理の教員になって、生徒の視野を広げたい」と夢を語った。また、岐阜聖徳学園大の出身で4月から大垣市立小学校の教諭に



授与式に参加した(左から)尾崎さん、高井会長、杉山さん、母袋さん

なる第2期生の辻健太さんも登壇し、「仲間や家族、奨学会の支えがあったからこそ。感謝の気持ちを胸に、困難に立ち向かっていく」と力を込めた。

門出を迎えた若者らに、高井会長は「努力は人を裏切らない。勉強すればするほどいい判断ができる。いい結果が出る」と激励した。